

授業科目名	日本国憲法		科目コード	204005	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )		
	実務経験内容 ・高等学校に38年間勤務し、主に歴史や政治・経済を担当。歴史では自由権獲得の歴史、19世紀以降の国別にみる民主政治の歩み、社会権に関する内容を、政治・経済の政治分野では日本国憲法の特徴、基本原理、三権分立、日本の政治、国際社会との連携などの内容を取り扱った。 ・短期大学に7年間勤務。日本国憲法の授業では、判例を含めて高校の内容をさらに深化させた授業を展開。 ・近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須・選択・選択必須		単位数	2単位	
使用テキスト1	書名	日本国憲法			
	著者	下村 孝			
	出版社	近畿大学九州短期大学通信教育部			
使用テキスト2	書名				
	著者				
	出版社				
参考図書	必要に応じて図書・資料などを紹介する。				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習・実習・実験・その他 ( )				
<授業の目的・目標> ・日本国憲法の全体像を理解することができるようになる。また、日本国憲法の規定を確認し、人権保障に関する様々な解釈を理解することができるようになる。					
<授業の概要・授業方針> ・日本国憲法は、主眼を国民の人権の保障に置き、そのために統治機構が作られていることを理解することができるように条文や図・表も活用した授業を行う。 ・日本国憲法の基本原理や統治機構などが、日常生活にどのように関わっているかを理解することができるように、具体例を示しながら授業を行う。					
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①提出物：10%、②小テスト、授業態度：20%、③定期試験：70%					
<使用問題集・注意事項> ・特になし					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・各回の授業内容を講義プリントで予習して授業を受け、授業後は理解を深めるために復習を必ず行う。また、講座と関係する情報（新聞記事など）を収集し、スクラップする。		
授業科目名	日本国憲法	
回	授 業 内 容	備 考
1	憲法とは何か(1) 近代的（立憲的）意味の法／近代憲法の原則	
2	憲法とは何か(2) 憲法の特質／憲法の分類	
3	憲法とは何か(3) 現代憲法への展開	
4	日本憲法史 明治憲法の制定と特色／日本国憲法の制定	
5	日本国憲法の構成	
6	日本国憲法の基本原理	
7	基本的人権の保障	
8	包括的人権の保障	
9	精神的自由権(1) 思想・良心の自由／信教の自由	
10	精神的自由権(2) 学問の自由／表現の自由	
11	経済的自由権(1) 職業選択の自由	
12	経済的自由権(2) 財産権の保障	
13	社会権(1) 生存権／教育を受ける権利	
14	社会権(2) 勤労の権利／労働基本権	
15	身体的自由権(1) 奴隷的拘束および苦役からの自由／刑事手続の保障	
16	身体的自由権(2) 被疑者の権利／拷問・残虐な刑罰の禁止	
17	国務請求権／参政権	
18	統治機構(1) 機構の原理 ①議会制度	
19	統治機構(2) 機構の原理 ②権力分立	
20	統治機構(3) 国会① 国会の地位／国会の構成	
21	統治機構(4) 国会② 国会の議院の権能／国会の運営	
22	統治機構(5) 内閣① 議院内閣制	
23	統治機構(6) 内閣② 内閣の組織／内閣の権能	
24	統治機構(7) 裁判所① 司法権／裁判所の組織	
25	統治機構(8) 裁判所② 違憲審査制／裁判の公開	
26	地方自治(1) 地方自治の保障／地方公共団体	
27	地方自治(2) 地方公共団体の組織と権能	
28	憲法の保障と改正(1) 憲法の保障	

29	憲法の保障と改正(2) 憲法改正	
30	まとめ	